

爺ヶ岳～針ノ木岳山行報告

【山域】北アルプス北部

【ルート】扇沢～爺ヶ岳～針ノ木岳～扇沢

【登山方法】小屋泊まり縦走

【日程】2019年8月3日(木)～4日(土)

【メンバー】CL 室(昌)、SL 宮城、吉瀬、清野(記)

【行程】 8月2日 千葉→長野県大町市のペンション泊

8月3日 扇沢→爺ヶ岳→新越山荘泊

8月4日 新越山荘→針ノ木岳→扇沢

白馬村のペンション泊

8月5日 帰葉

【内容】

8月3日(土) 晴れ

扇沢登山道入り口 5:40→種池山荘 9:55→爺ヶ岳南峰 11:00

→種池山荘 12:00→岩小屋沢岳 14:20→新越山荘 15:20

朝5時にペンションを出た。扇沢の柏原新道登山口近くの2か所ある駐車場はすでにいっぱいだったので、近くの道路沿いにある駐車スペースに車をとめた。登山口に設け

であるテントで登山届を提出した。

柏原新道は整備されていて歩きやすかったが、歩きはじめから急こう配と暑さのため汗だくになった。ゴゼンタチバナ、ヒヨドリソウ、センジュガンピ、ヤマアジサイ、ハクサンオミナエシ、ハクサンシャクナゲなどの花を横目にゆっくり進んで行った。しばらく行くと、左手に聳え立った岩小屋沢岳が見えてきた。登り始めて3時間ぐらいすると、前方の山の稜線に赤い屋根の種池山荘が見えた。



柏原新道に咲いていたハクサンシャクナゲ

種池山荘にあと少しというところで、コバイケイソウの大群落広がっていた。群落の中にはハクサンフウロ、ハクサンボウフウ、エゾシオガマ、コイワカガミ、ウサギギク、ヨツバシオガマなどが咲いていた。種池山荘で休憩し、爺ヶ岳に行くことになったが、筆者はこの素晴らしいお花畑をもう少し堪能したかったし、爺ヶ岳は1度行ったことがあるので、他の3人だけで行ってもらうことにした。3人を見送ったあと、コバイケイソウ、チングルマ、アオノツガザクラのお花畑の中に座って、ゆっくりとその景色

を味わうこと

ができた。

3人と合流し、山荘を出発すると、すぐ傍らにある種池にはサンショウウオの卵が白いかたまりとなってふんわりと浮かんでいた。その先は高さの低い樹林となった。下には花を咲かせたキヌガサソウが長いこと続き、楽しませてくれた。樹林がなくなり稜線に出るとお花畑が広がっていた。ミヤマキンポウゲ、クルマユリ、テガタチドリ、コバイケイソウ、ハクサンチドリ、ヤマハハコ、モミジカラムツ、など多くの種類が咲いていた。やがてハイマツ帯になり、視界もずっと広がってきて、気持ちの良い稜線歩きとなった。右側に劔岳、立山連峰が見えてきたときには感激した。



左から立山連峰、真砂岳、別山、劔岳

何度かピークを越えて岩小屋沢岳頂上に到着。頂上からは、劔岳、立山連峰がより近くに大きく迫って見えた。ここから先も気持ちのよい稜線歩きは続いた。前方に明日目指す針ノ木岳が遠くに見えた。一度大きく登り返し、くだっていくとコバイケイソウやシナノキンバイの咲き乱れるお花畑となり、新越山荘に着いた。山荘からは蓮華岳や明日向かう針ノ木岳を眺めることができた。山荘では布団1枚に1人で寝ることができた。



左側が蓮華岳、右側が針ノ木岳

8月4日(日) 晴れ

新越山荘 5:30→鳴沢岳 6:20→赤沢岳 7:30→スバリ岳 10:00→針ノ木岳 11:30→針

ノ木小屋 13:10→大沢小屋 15:40→扇沢 16:50

山荘で朝食をとり、5時半に出発。



新越山荘前にて

本日の最初のピーク、鳴沢岳までは登りが続いた。昨日は見かけなかったトンボがところどころ飛んでいた。昨日まで目の前を飛び回っていた虫が少ないのはトンボのおかげだろう。頂上からは遥か向こうにある針ノ木岳までの稜線を望むことができた。頂上からいったん大きく下った。次のピーク赤沢岳への登り返しの途中で雷鳥に出会った。



出会った雷鳥



赤沢岳を目指して稜線歩き

赤沢岳山頂からの展望も素晴らしかった。黒部湖も見ることができた。

山頂から降りてすぐのところにガレている危険箇所があった。その先も急なガレ場や、左側が切れ落ちた痩せた箇所が何度も出てきた。トンボの数も増え、すっかり虫がいなくなった。岩場を越えたり、急な登りを続けていくと、コマクサの群落があり、やっとスバリ岳山頂に着いた。



スバリ岳山頂にて

スバリ岳山頂からの展望も素晴らしかった。立山連峰が近くにより大きく見えた。黒部湖もより広く望むことができた。山頂を降りてすぐの南斜面にはコマクサの大群生地があった。小スバリは巻いて、シコタンソウ、タカネシオガマの群落を眺めながら、ガレガレの急登の後に、針ノ木山頂に着いた。

針ノ木岳山頂には、白、青、黄、緑、赤の旗がはってあった。山頂からは、劔岳、立山連峰はもとより、薬師岳、赤牛岳、水晶岳を望むことができた。

針ノ木峠にある針ノ木小屋に近づくと、ヘリコプターが荷揚げをしていた。小屋の外でゆっくり休憩をした。



針ノ木岳山頂からの眺め



針ノ木小屋へ荷揚げ中



針ノ木岳大雪渓を降下中

針ノ木岳大雪渓までは、急なザレた登山道をくだっていった。途中川の流れている水場があったので飲んでみたら冷たくて美味しかった。雪渓の入り口でアイゼンをつけ、降りて行った。雪渓を渡り終え、アイゼンをはずして進んで行くとすぐに、ニッコウキ

スゲとギボウシの大群生地があった。樹林帯の中を進んで行くと、大沢小屋についた。

下山時間が遅れているので、足を速めた。扇沢までの途中、今晚宿泊予定のペンションに連絡を入れると、夕飯時間までに間に合わないかもしれないことがわかった。そこでMさんが走って先に下山してくれた。私たち3人が扇沢に着くと、Mさんが車でお迎えに来てくれたので、30分の短縮ができ、夕食の時間に間に合うことができた。Mさんが扇沢から駐車場までのコンクリートの道を走り降りるのはさぞ大変だったろうと思うと、感謝の念しか湧いてこない。

今回の縦走は天候に恵まれ、素晴らしい景色と多種類の高山植物を堪能することができた。



夕食に間に合って乾杯！

清野(記)